



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月29日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 俊郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-4531-2111  
四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	2,250	8.3	216	△0.3	230	△1.9	164	△3.3
2023年5月期第1四半期	2,077	18.0	217	30.8	234	30.7	170	88.9

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 187百万円 (0.2%) 2023年5月期第1四半期 186百万円 (225.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	17.05	—
2023年5月期第1四半期	17.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	11,178	10,091	90.3
2023年5月期	12,311	10,077	81.9

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 10,091百万円 2023年5月期 10,077百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,490	4.4	450	0.6	480	2.6	340	10.0	35.19
通期	9,090	1.9	915	0.8	970	0.3	690	1.1	71.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	10,645,020株	2023年5月期	10,645,020株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	985,639株	2023年5月期	985,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	9,659,405株	2023年5月期1Q	9,643,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気回復の動きが継続しました。しかしながら、資源・原材料価格の高騰や世界的な金融引締めなどによる海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、業務効率化・生産性向上を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)など、情報通信技術(ICT)活用の意欲は依然として高いものの、IT投資の動向については慎重に見極めていく必要が生じております。

こうした環境の中、当社は、「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画(2021年6月～2024年5月)を策定し、人材育成のための大規模案件請負の推進、トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上を基本方針としております。

人材育成のための大規模案件請負の推進としては、大規模案件を計画的に請負受注し、開発を通じて新規設計能力やマネジメント力の向上などの人材育成を継続して進めており、大規模案件に参画した社員及び組織の成長が見られます。

トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上としては、これまでも顧客のご協力を得ながら長期的に継続している「ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで、顧客に最大のメリットを提供する」という取組みを、各セグメントの事業環境に応じて戦略的に目標を定めて実施し、さらなるトータル度向上により顧客への付加価値を向上させ、持続的な採算性の改善、競争力強化を図っております。

また持続的成長への施策として、賃上げを実施して社員への還元と採用競争力の維持・強化を図り、優秀な人材の安定確保に取組むとともに、戦略に沿った技術教育や継続的なマネジメント教育を通じて社員の技術力の強化に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,250百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は216百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益は230百万円(前年同期比1.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を「特定情報システム」へ移管しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

#### (制御システム)

制御システムでは、再生可能エネルギーを含めた電力系統制御システムは体制拡大により好調に推移しましたが、プラント監視制御システムは開発量が減少しました。東京圏輸送管理システムは前期より開始した更新案件により売上が好調に推移しました。新幹線の運行管理システムは横ばいで推移し、在来線の運行管理システムは開発量が減少しました。

この結果、売上高は338百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は73百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

#### (自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は新たな案件を受注するなど好調に推移しました。車載情報関連は売上が横ばいで推移し、電動化関連は海外向けの開発規模縮小に伴い減少しました。

この結果、売上高は552百万円(前年同期比11.1%増)、セグメント利益は142百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、衛星画像関連は受注量の増加により好調に推移しました。航空宇宙関連はリプレース案件により売上が堅調に推移しました。危機管理関連は大規模案件が収束したことで体制を縮小しました。

この結果、売上高は297百万円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益は44百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

#### (組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は体制を縮小したものの、新ストレージ開発は新たな開発案件を受注するなど好調に推移しました。IoT建設機械関連は開発量が増加し体制を拡大したことで堅調に推移しました。

この結果、売上高は347百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益は88百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

(産業・ICTソリューション)

産業・ICTソリューションでは、社会インフラ関連の駅務機器開発は新たな案件を受注するなど好調に推移し、道路設備関連は体制を拡大し堅調に推移しました。官公庁向け開発は前期より開始した開発案件が好調に推移しました。システム構築関連はおおむね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は713百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は116百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,132百万円減少して、11,178百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いに伴い現金及び預金が減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円減少して、1,087百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いが行われた結果、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13百万円増加して、10,091百万円となりました。この主な要因は、配当金支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、90.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年7月7日公表の2024年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,157,233	3,206,394
受取手形、売掛金及び契約資産	2,589,144	2,519,810
電子記録債権	1,306,703	1,273,624
有価証券	750,333	600,601
仕掛品	97,023	114,613
その他	100,737	137,277
流動資産合計	9,001,176	7,852,322
固定資産		
有形固定資産	161,528	162,219
無形固定資産	40,516	37,674
投資その他の資産		
投資有価証券	2,536,510	2,509,580
その他	571,923	617,134
投資その他の資産合計	3,108,433	3,126,714
固定資産合計	3,310,479	3,326,609
資産合計	12,311,655	11,178,931
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	158,104	139,137
未払法人税等	166,833	80,928
賞与引当金	1,334,760	402,104
その他の引当金	39,392	11,806
その他	477,258	406,805
流動負債合計	2,176,348	1,040,780
固定負債		
長期末払金	57,477	46,894
その他	166	166
固定負債合計	57,643	47,060
負債合計	2,233,992	1,087,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,270,166	2,270,166
利益剰余金	6,420,435	6,411,223
自己株式	△618,599	△618,599
株主資本合計	9,559,412	9,550,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,008	492,581
為替換算調整勘定	42,241	48,307
その他の包括利益累計額合計	518,250	540,889
純資産合計	10,077,663	10,091,090
負債純資産合計	12,311,655	11,178,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,077,515	2,250,243
売上原価	1,617,675	1,784,972
売上総利益	459,839	465,270
販売費及び一般管理費	242,335	248,316
営業利益	217,504	216,954
営業外収益		
受取利息	2,948	2,716
受取配当金	10,226	11,963
受取保険金	10,000	—
保険解約返戻金	1,117	375
その他	1,282	1,761
営業外収益合計	25,574	16,817
営業外費用		
障害者雇用納付金	600	150
為替差損	3,332	2,561
租税公課	3,736	—
その他	870	934
営業外費用合計	8,539	3,646
経常利益	234,539	230,126
特別利益		
固定資産売却益	—	1,052
特別利益合計	—	1,052
特別損失		
固定資産除却損	0	1,137
特別損失合計	0	1,137
税金等調整前四半期純利益	234,539	230,041
法人税等	64,346	65,380
四半期純利益	170,192	164,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,192	164,660

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	170,192	164,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,073	16,572
為替換算調整勘定	13,677	6,066
その他の包括利益合計	16,750	22,638
四半期包括利益	186,943	187,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,943	187,299



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	326,099	497,235	275,992	325,822	652,365	2,077,515
外部顧客への売上高	326,099	497,235	275,992	325,822	652,365	2,077,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	326,099	497,235	275,992	325,822	652,365	2,077,515
セグメント利益	79,506	142,355	56,311	73,818	106,584	458,575

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,077,515
外部顧客への売上高	—	2,077,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,077,515
セグメント利益	△241,070	217,504

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,070千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△242,335千円及びその他1,264千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
外部顧客への売上高	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	338,421	552,248	297,757	347,870	713,946	2,250,243
セグメント利益	73,237	142,370	44,613	88,226	116,289	464,737

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,250,243
外部顧客への売上高	—	2,250,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,250,243
セグメント利益	△247,783	216,954

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,783千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△248,316千円及びその他533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を、「特定情報システム」へ移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。